

須坂のまちなかベンチ

ふれあい館まゆぐらにおけるベンチの設計

1 班 及川 高橋 津雲 安室

須坂のまち

須坂は長野県の北部に位置する、明治から昭和初期にかけて製糸業で栄えたまち。土蔵造りや大壁造りの建物が現在でも残っており、蔵の町として伝統ある町である。歴史ある蔵の町並みを残すことに町が積極的であり、また訪れた人と町の人が交流を持てる温かい町。

周囲を北信五岳の美しい山に囲まれ、アルプスも望むことが出来る。自然と歴史が調和し温かな人と出会える魅力的な町である。



横町通り



本町通り

現地調査

現状

- ・病院に近く、関係者の人が多く利用。
- ・まゆぐらの前を通過する人は多くみられたが、ベンチで休憩をする人は調査時見なかった。
(普段は病院関係者、地元の学生、観光客、直売所に買い物をしに来る人が利用)
- ・敷地内のベンチはそれほど目立つものではない。
- ・2人掛けのベンチが個々に配置されている。

実際に感じたこと

- ・須坂の歴史を感じることでできるまゆぐらの前でいっつくするのは心地よく、落ち着いた空間である。
- ・大きな整地をもっと活用したい。
- ・まちとまゆぐらへつながる空間として、人が集まり繋がる空間に出来ないか…
- ・もし個人的に訪れた時に、先客がいたら利用しづらいのでは…?



2

現地調査



ベンチを計画する場所の写真（上の写真）
2か所
（病院側の整地、中央通り側の広い空間）



ふれあい館まゆぐら（左写真）

3

広域敷地図



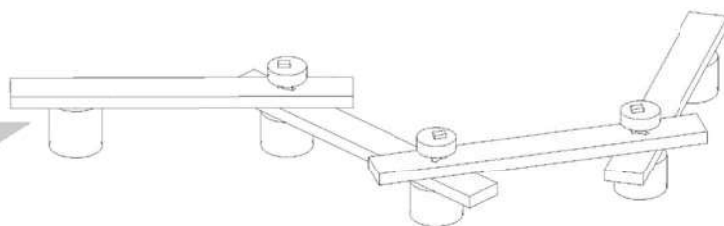
図.1 敷地広域図

ベンチ計画の概要

Concept

まちに溶け込む可変性のあるベンチ

- ・ 1人でベンチを利用する人、2～3人で利用する人両方を考慮したあらゆるニーズに対応したベンチ
- ・ 周囲の環境、須坂のまちに溶け込むベンチ



ベンチ完成図

対象とする人

- ・ 病院関係者
- ・ 須坂を訪れる観光客
- ・ 地元の人
- ・ 直売所に買い物をしに来る人

ベンチ詳細

座面高さ：400mm、500mm
座面：300mm
板厚：100mm
板材の長さ：2600mm
使用材料：スギ
スギの比重⇒0.38g/cm³

配置図

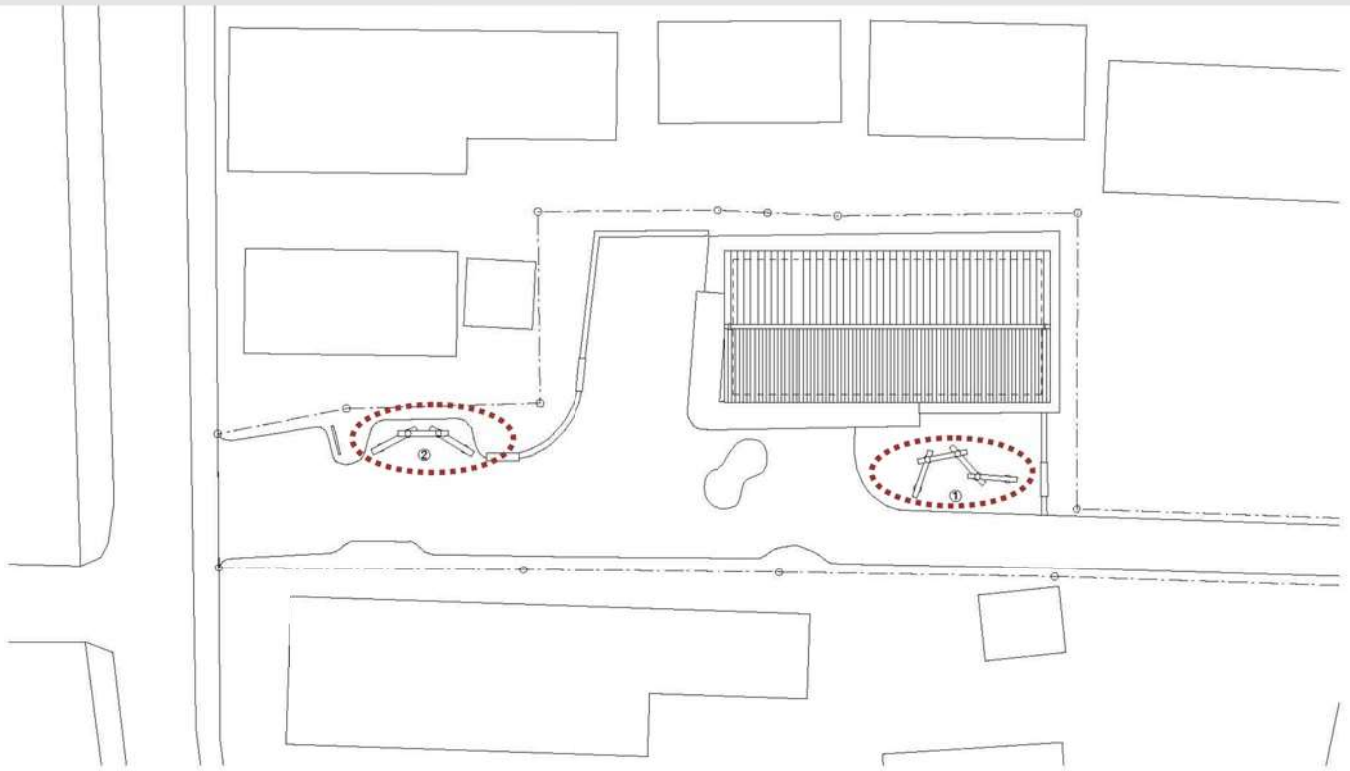


図. 2 配置図

ベンチ配置図

6

①平面図

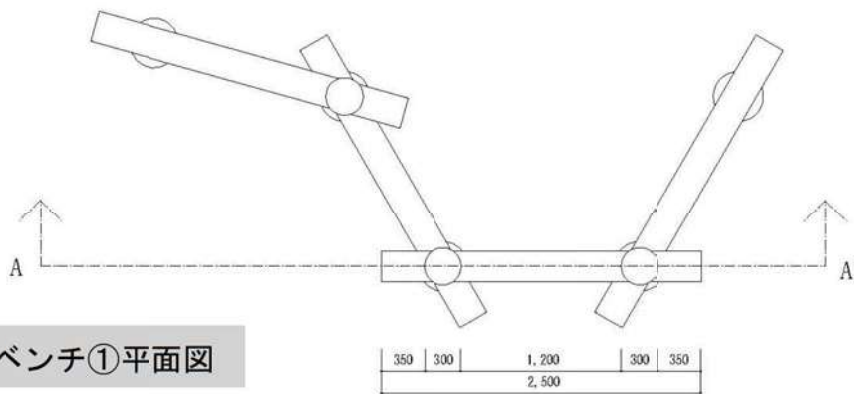


図. 3 ベンチ①平面図

ベンチ①平面図 (S=1/50)

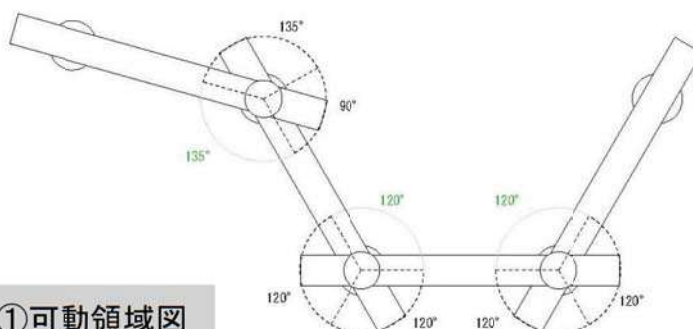


図. 4 ベンチ①可動領域図

ベンチ①可動領域図 (S=1/50)

7

②平面図

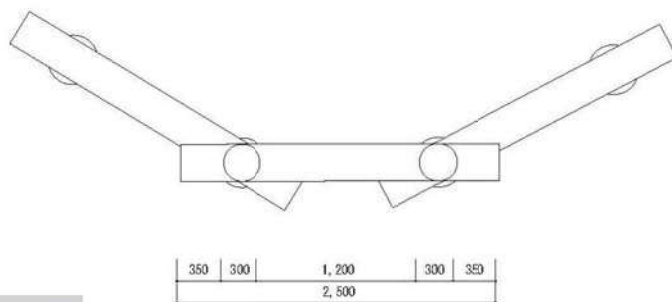


図. 5 ベンチ②平面図

0 1 2 (m)
ベンチ②平面図 (S=1/50)

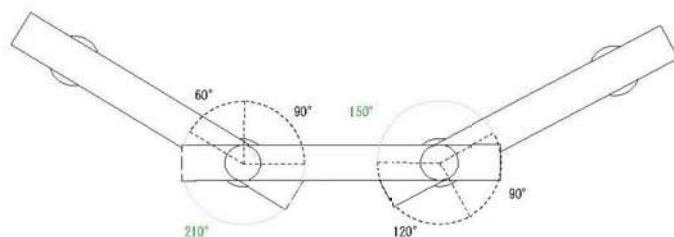


図. 6 ベンチ②可動領域図

0 1 2 (m)
ベンチ②可動領域図 (S=1/50)

8

①断面図、①組み立て図

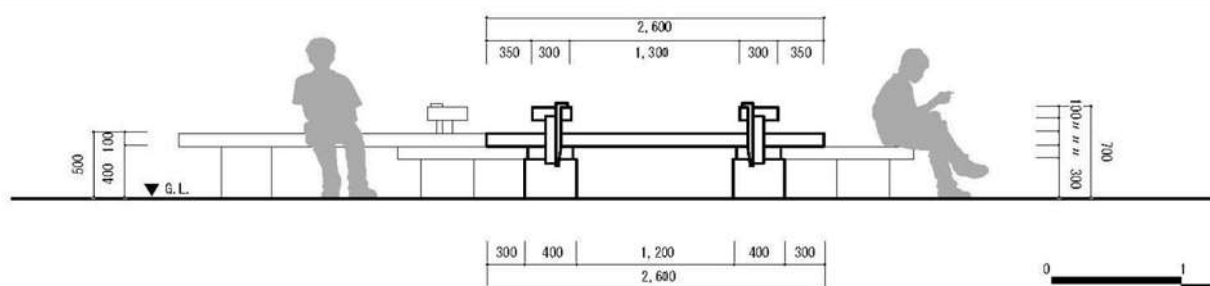


図. 7 ベンチ①断面図

0 1 2 (m)
ベンチ①断面図 (S=1/50)

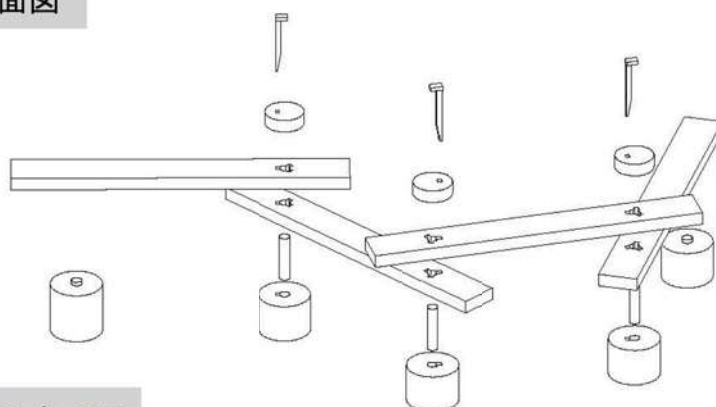
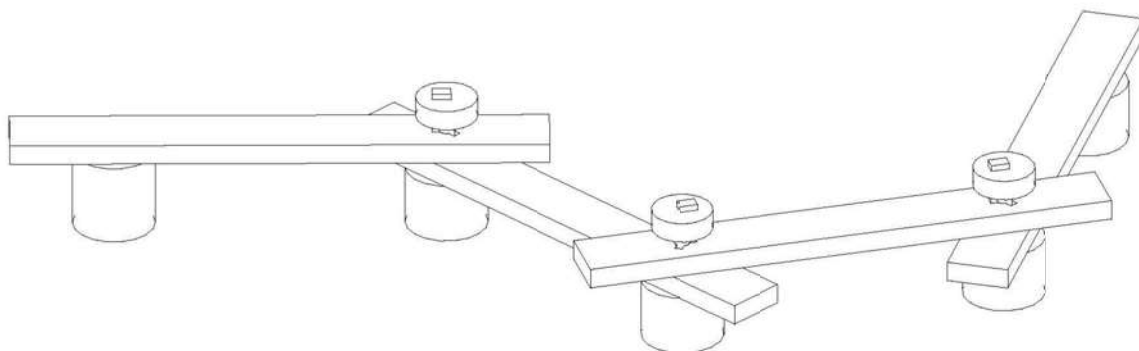


図. 8 ベンチ①組み立て図

ベンチ①組み立て図
※ 部材 (A ~ J) 寸法は次頁より

9

ベンチ完成図



ベンチ①完成図

1 人の時間を過ごすのも、数人で訪れても利用しやすい居心地の良いベンチ。
可動性のあるベンチを設計することでさまざまな空間を作り出す。
フレキシブルな形が取れることで視線が交差することも、交わらないようにすることも可能。
須坂のまちに溶け込む、まちの人からも須坂を訪れる人からも愛着の持てる空間づくり。